

重阪最終処分場拡張事業  
環境影響評価方法書の概要  
—環境審議会資料—

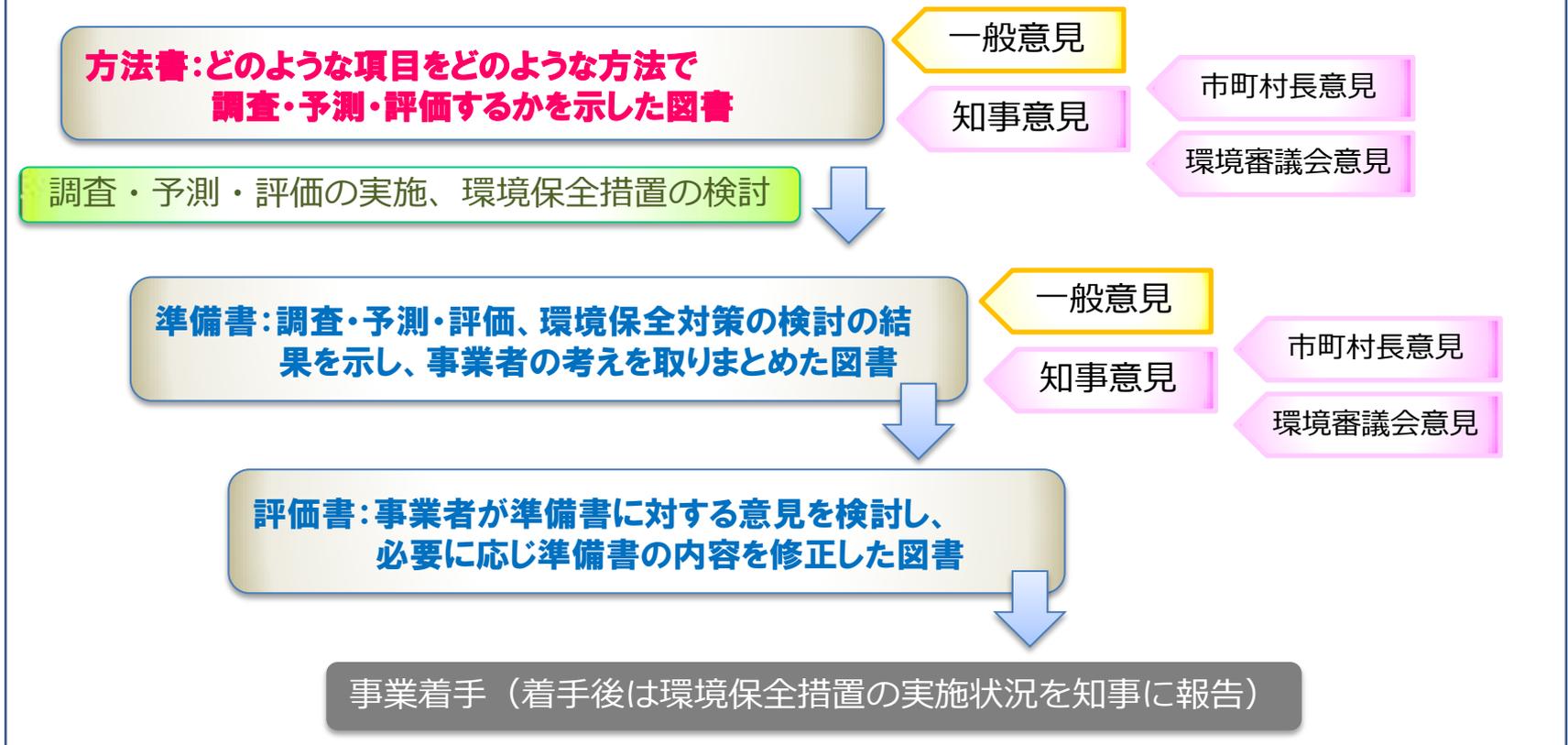
平成27年8月4日(火)

奈良県くらし創造部景観・環境局 環境政策課

# 1. 環境影響評価制度

環境影響評価制度とは、事業者が、開発事業の内容を決めるにあたって、それが環境に及ぼす影響について、予め事業者自らが調査・予測・評価を行い、その結果を公表して一般の方や行政の意見を聴き、それらを踏まえて環境の保全の観点からよりよい事業計画を作り上げていくことを目的とした制度です。

## ■ 県条例に基づく手続きフロー



## 2. 重阪最終処分場拡張事業の方法書にかかる審議等経緯

(1) 方法書の縦覧 : 平成27年3月31日～4月30日

(2) 意見聴取期間 : 平成27年3月31日～5月14日 >意見の提出数:0件

(3) 環境審議会環境影響評価審査部会の開催(3回開催)

平成27年5月15日(第1回)

平成27年6月12日(第2回)

平成27年7月10日(第3回)

### 3. 環境影響評価項目(※方法書106頁)

環境要素の区分		環境影響要因の区分		工事の実施		土地又は工作物の存在及び供用	
		最終処分場の設置の工事	最終処分場の存在	廃棄物の埋立て	廃棄物の搬入車両の走行		
大気質	二酸化窒素	◎		○	○		
	浮遊粒子状物質	◎		◎	◎		
	粉じん等	○		○	○		
騒音	騒音	○		○	○		
振動	振動	○		○	○		
悪臭	悪臭			○			
水質	水の濁り	○		○			
	水の汚れ		○	○			
地形及び地質	重要な地形及び地質		○				
動物	重要な種及び注目すべき生息地	○	○	○			
植物	重要な種及び群落	○	○	○			
生態系	地域を特徴づける生態系	○	○	○			
景観	主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観		○				
人と自然との 触れ合いの活動の場	主要な人と自然との触れ合いの活動の場	○	○	○			
文化遺産	文化財及び埋蔵文化財包蔵地		○				
廃棄物等(※)	建設工事に伴う副産物	○					

◎：技術指針の標準項目として示されていないが、選定する項目

○：技術指針の標準項目として示されており、選定する項目

※当該施設において処理又は処分する廃棄物を除く

## 4. 環境影響評価項目及び調査・予測・評価の手法

### (1) 大気質 ①現況調査(※方法書108～109頁)

区分	調査項目	調査地点	調査期間
既存資料調査	大気汚染物質の濃度	御所局(一般環境大気測定局)	過去5年
	気象の状況	五條地域気象観測所	1年間
現地調査	風向、風速	対象事業実施区域内1地点	4季 (各季7日間)
	二酸化窒素 浮遊粒子状物質		
	粉じん等 (降下ばいじん)	対象事業実施区域内1地点	4季 (各季1ヶ月間)



## 4. 環境影響評価項目及び調査・予測・評価の手法

### (1) 大気質 ②予測(※方法書110頁)

予測内容	予測項目	予測地域	予測時期
工事及び廃棄物の埋立てに伴う建設機械の稼働による影響	二酸化窒素 浮遊粒子状物質	対象事業実施区域周辺	周辺地域への影響が最大となる時期
	粉じん等		
工事車両及び廃棄物の搬入に用いる車両の走行による影響	二酸化窒素 浮遊粒子状物質	車両の走行ルート沿道	車両台数が最大となる時期
	粉じん等		

## 4. 環境影響評価項目及び調査・予測・評価の手法

### (2) 騒音 ①現況調査(※方法書111頁)

区分	調査項目	調査地点	調査期間
現地調査	環境騒音	周辺住宅等:2地点 敷地境界:3地点	平日、土曜日各1回 (24時間連続)
	道路交通騒音	道路沿道:1地点	
	交通量、走行速度		

### ②予測(※方法書111頁)

予測内容	予測項目	予測地域	予測時期
工事及び廃棄物の埋立てに伴う建設機械の稼働による影響	騒音レベル (作業騒音)	対象事業実施区域周辺	周辺地域への影響が最大となる時期
工事車両及び廃棄物の搬入に用いる車両の走行による影響	等価騒音レベル (道路交通騒音)	車両の走行ルート沿道	車両台数が最大となる時期

## 4. 環境影響評価項目及び調査・予測・評価の手法

### (3) 振動 ①現況調査(※方法書113頁)

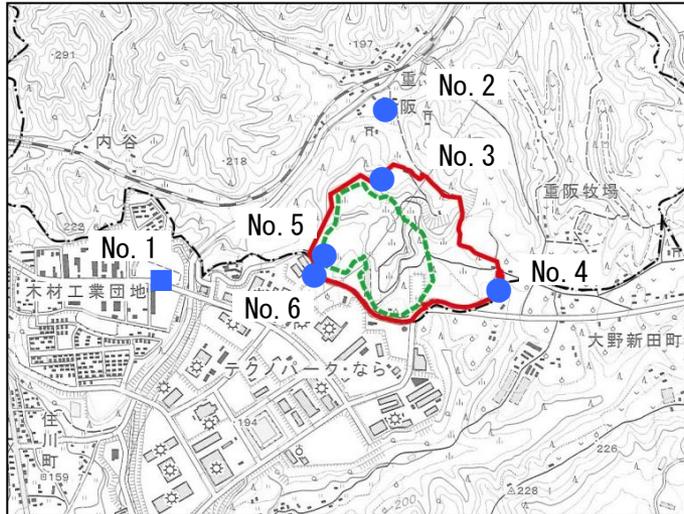
区分	調査項目	調査地点	調査期間
現地調査	環境振動	周辺住宅等:2地点 敷地境界:3地点	平日、土曜日各1回 (24時間連続)
	道路交通振動	道路沿道:1地点	
	交通量、走行速度		
	地盤卓越振動数		

### ②予測(※方法書113頁)

予測内容	予測項目	予測地域	予測時期
工事及び廃棄物の埋立てに伴う建設機械の稼働による影響	振動レベル (作業振動)	対象事業実施区域周辺	周辺地域への影響が最大となる時期
工事車両及び廃棄物の搬入に用いる車両の走行による影響	振動レベル (道路交通振動)	車両の走行ルート沿道	車両台数が最大となる時期

## 4. 環境影響評価項目及び調査・予測・評価の手法

### 【騒音・振動の調査地点】（※方法書112頁）



- : 道路交通騒音調査地点
- : 環境騒音調査地点

騒音・振動に関する部会意見	事業者
騒音・振動の調査地点について、発生源、敷地境界、民家等との距離・位置関係を準備書に記載すること。また、道路交通騒音・振動の調査地点の選定理由を明らかにすること。	部会審議の内容を踏まえ、準備書に記載する。

## 4. 環境影響評価項目及び調査・予測・評価の手法

### (4) 交通計画(※方法書21頁)

#### 【搬入車両台数の想定】

新規埋立開始時の年間埋立容量は現状（平成25年度実績）の1.325倍を予定している。稼働日、搬入時間等は現状と変わらないことから、搬入車両台数は現状41台/日の1.325倍となる55台/日を見込むものとする。

交通計画に関する部会意見	事業者
廃棄物搬入車両の走行による影響を予測する際には、交通計画に記載された平均的な台数ではなく、影響が最大となる状況を想定の上、予測・評価を実施すること。	部会審議の内容を踏まえ、予測・評価を行い、準備書に記載する。

## 4. 環境影響評価項目及び調査・予測・評価の手法

### (5) 悪臭 ①現況調査(※方法書114頁)

区分	調査項目	調査地点	調査期間
現地調査	特定悪臭物質濃度(22項目)※ 臭気指数	周辺住宅等3地点 敷地境界3地点	4季 (各季1回)

※特定悪臭物質(22項目): アンモニア、メチルメルカプタン、硫化水素、硫化メチル、二硫化メチル、トリメチルアミン、アセトアルデヒド、プロピオンアルデヒド、ノルマルブチルアルデヒド、イソブチルアルデヒド、ノルマルバレルアルデヒド、イソバレルアルデヒド、イソブタノール、酢酸エチル、メチルイソブチルケトン、トルエン、スチレン、キシレン、プロピオン酸、ノルマル酪酸、ノルマル吉草酸、イソ吉草酸

### ②予測(※方法書114頁)

予測内容	予測項目	予測地域	予測時期
廃棄物の埋立てによる影響	悪臭の程度	対象事業実施区域周辺	埋立期間中

## 4. 環境影響評価項目及び調査・予測・評価の手法

### 【悪臭の調査地点】(※方法書115頁)



悪臭に関する部会意見	事業者
<p>悪臭について、既存データでは基準値以下であっても、気象条件や時間帯等の条件が重なった場合には悪臭が発生する可能性があることを踏まえ、悪臭が発生しやすい条件を想定し、追加調査を実施すること。また、悪臭が発生した場合の保全対策を検討し、準備書に記載すること。</p>	<p>部会審議の内容を踏まえ、調査・予測・評価、及び保全対策の検討を行い、準備書に記載する。</p>

## 4. 環境影響評価項目及び調査・予測・評価の手法

### (6) 水質 ①現況調査(※方法書116頁)

区分	調査項目	調査地点	調査期間
既存資料調査	河川水質の状況	曾我川	過去1年
現地調査(平水時)	水温、流量 生活環境項目 健康項目 その他項目 ダイオキシン類	対象事業実施区域  下流河川:3地点 ・No.1(処理水合流前) ・No.2(処理水合流後) ・No.3(小河川流入後)	4回/年
現地調査(降雨時)	SS、濁度、流量		降雨時1回
現地調査(土質)	粒度組成 土砂の沈降特性	改変部3地点程度	1回

### 【水質の調査地点】(※方法書117頁)



## 4. 環境影響評価項目及び調査・予測・評価の手法

### (6) 水質 【分析項目】 (※方法書116頁)

調査項目	分析項目
水質 (生活環境項目)	水素イオン濃度、生物化学的酸素要求量、化学的酸素要求量、浮遊物質、溶存酸素量、全窒素、全りん、全亜鉛、大腸菌群数
水質 (健康項目)	カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、アルキル水銀、PCB、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、ふっ素、ほう素、1,4-ジオキサン
水質 (その他項目)	有機りん化合物、フェノール類、銅、溶解性鉄、溶解性マンガン、クロム、ノルマルヘキサン抽出物質(鉱物油)、ノルマルヘキサン抽出物質(動植物油)

### (6) 水質 ② 予測 (※方法書118頁)

予測内容	予測項目	予測地域	予測時期
最終処分場の設置の 工事による影響	工事中の降雨時における濁水	対象事業実施区域 下流河川	影響が最大となる 時期
最終処分場の存在及び 廃棄物の埋立てに伴う 影響	埋立期間中の降雨時における濁水	対象事業実施区域 下流河川	影響が最大となる 時期
	水処理施設の放流水		埋立期間中

#### 4. 環境影響評価項目及び調査・予測・評価の手法

水質に関する部会意見	事業者
<p>降雨時の河川調査について、降雨時に1回となっているが、複数の降雨条件での調査を実施すること。なお、降雨時の予測については、当該地域における過去の最大時間雨量を踏まえた豪雨時を条件とした予測も実施すること。</p>	<p>部会審議の内容を踏まえ、調査・予測・評価を行い、準備書に記載する。</p>
<p>河川調査の調査地点について、下流河川3地点となっているが、対象事業実施区域の水が放流される小河川が曾我川へ合流する前後の水質を把握するための調査も行い、その結果を踏まえて予測・評価を実施すること。</p>	
<p>定期的実施している地下水及び放流水の調査項目及び頻度を準備書に記載した上で、それらの調査結果も踏まえて予測・評価を実施すること。</p>	

## 4. 環境影響評価項目及び調査・予測・評価の手法

### (7) 地形及び地質 ①現況調査 (※方法書119頁)

区分	調査項目	調査地点	調査期間
既存資料調査	重要な地形及び地質の分布、 状態及び特性	対象事業実施区域及び その周辺	入手可能な最新資料

### ②予測 (※方法書119頁)

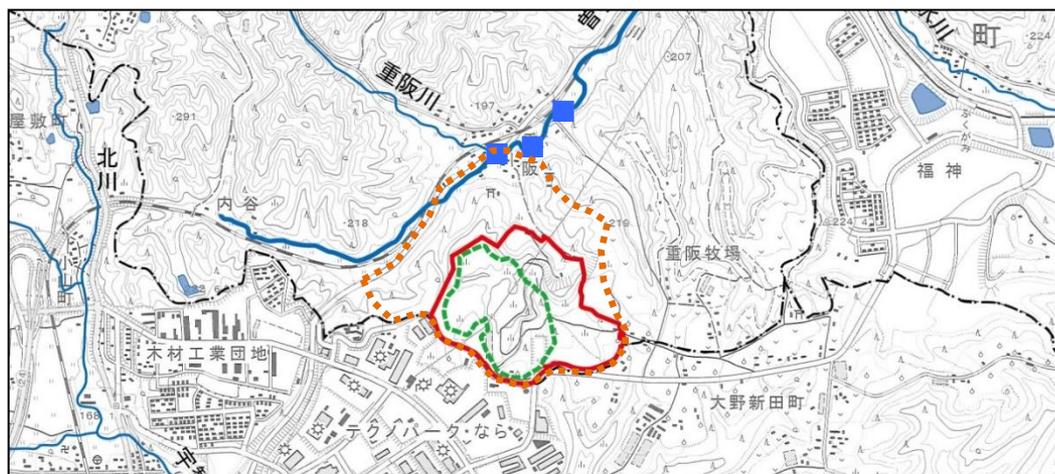
予測項目	予測地域	予測時期
重要な地形及び地質	対象事業実施区域及びその周辺	埋立期間中

地形及び地質に関する部会意見	事業者
対象事業実施区域周辺の重要な地形及び地質分布について、一部不正確な記述があるため、より詳細な資料を収集整理した上で、予測・評価を実施すること。	部会での指摘を踏まえ、予測・評価を行い、準備書に記載する。

## 4. 環境影響評価項目及び調査・予測・評価の手法

### (8) 動物 ①現況調査(※方法書120～121頁)

区分	調査項目	調査地点	調査期間
既存資料調査	動物の生息状況	対象事業実施区域及びその周辺	最新年
現地調査	鳥類	対象事業実施区域及びその周辺	4季
	哺乳類		4季 (トラップ法調査は春季実施予定)
	両生類、爬虫類		4季
	昆虫類		3季(春、夏、秋)
	魚類	対象事業実施区域 下流河川	1季(春)
	底生動物		3季(冬、春、夏)



- : 動植物調査範囲
- : 魚類、底生動物、付着藻類調査地点

## 4. 環境影響評価項目及び調査・予測・評価の手法

### (8) 動物 ②予測(※方法書122頁)

予測内容	予測項目	予測地域	予測時期
最終処分場の設置の工事による影響	工事の実施による改変等による影響	対象事業実施区域周辺	工事による影響が最大となる時期
最終処分場の存在及び廃棄物の埋立てに伴う影響	建設機械の稼動、水処理施設の放流水等による影響	対象事業実施区域周辺及び下流河川	埋立期間中

## 4. 環境影響評価項目及び調査・予測・評価の手法

### (9) 植物 ① 現況調査(※方法書123頁)

区分	調査項目	調査地点	調査期間
既存資料調査	植物の生育状況	対象事業実施区域及びその周辺	最新年
現地調査	植物相	対象事業実施区域及びその周辺	3季(春、夏、秋)
	植生		1季(夏)
	付着藻類	対象事業実施区域下流河川	3季(冬、春、夏)

### ② 予測(※方法書123頁)

予測内容	予測項目	予測地域	予測時期
最終処分場の設置の工事による影響	工事の実施による改変等による影響	対象事業実施区域及びその周辺	工事による影響が最大となる時期
最終処分場の存在及び廃棄物の埋立てに伴う影響	水処理施設の放流水等による影響	対象事業実施区域及びその周辺	埋立期間中

植物に関する部会意見	事業者
<p>植生調査について、植生図で裸地・グラウンド・造成地となっている区域にも草本群落があること、また、草地には外来種が生育したり、湿地がある場合はマット形成している可能性もあることを踏まえ、必要に応じて追加調査を実施すること。</p> <p>対象事業実施区域の修景緑化の参考とするため、これまでの造成工事等の履歴を踏まえ、各々のエリアの植生区分の面積比率を準備書に記載すること。</p>	<p>部会審議の内容を踏まえ、調査・予測・評価を行い、準備書に記載する。</p>

## 4. 環境影響評価項目及び調査・予測・評価の手法

### (10) 生態系 ① 現況調査(※方法書124頁)

区分	調査項目	調査地点	調査期間
現地調査	地域を特徴づける生態系	対象事業実施区域及びその周辺	動物、植物と同じ

### ② 予測(※方法書124頁)

予測内容	予測項目	予測地域	予測時期
最終処分場の設置の 工事による影響	工事の実施による改変等による影響	対象事業実施区域及びその周辺	工事による影響が最大となる時期
最終処分場の存在及び 廃棄物の埋立てに伴う影響	水処理施設の放流水等による影響	対象事業実施区域周辺及び下流河川	埋立期間中

生態系に関する部会意見	事業者
生態系について、注目種やその生息・生育環境を選定するとされているが、相互の関連性や周囲への影響を考慮して予測・評価を行うこと。また、注目種等の選定理由を明らかにすること。	部会審議の内容を踏まえ、調査・予測・評価を行い、準備書に記載する。

## 4. 環境影響評価項目及び調査・予測・評価の手法

### (11) 景観 ①現況調査(※方法書125頁)

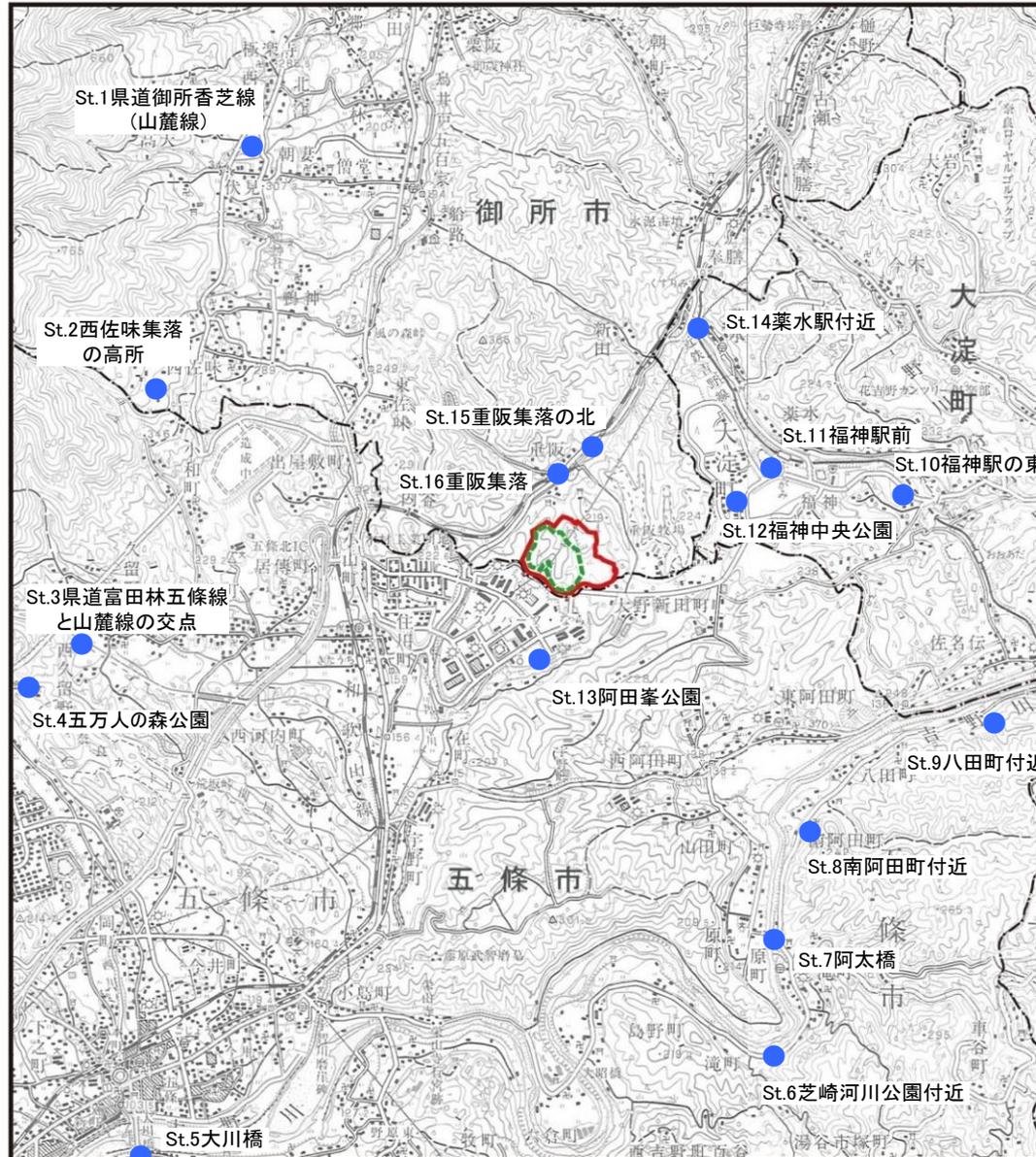
区分	調査項目	調査地点	調査期間
既存資料調査	主要な眺望点の分布 景観資源の分布 主要な眺望景観の概要	対象事業実施区域周辺	入手可能な最新資料
現地調査	主要な眺望点からの 眺望の状況	対象事業実施区域周辺16地点を 現地調査し、対象事業実施区域を 視認できる地点を抽出	繁茂期、落葉期

### ②予測(※方法書125頁)

予測内容	予測項目	予測地域	予測時期
最終処分場の存在	主要な眺望点からの眺望の変化	対象事業実施区域周辺 3地点程度	埋立期間中

# 4. 環境影響評価項目及び調査・予測・評価の手法

## 【景観 現況調査位置】



## 4. 環境影響評価項目及び調査・予測・評価の手法

景観に関する部会意見	事業者
<p>景観の調査・予測について、主要な眺望点は中・遠景となっているが、対象事業実施区域の接道部からの近景についても調査・予測・評価を実施すること。</p>	<p>部会での指摘を踏まえ、調査・予測・評価を行い、準備書に記載する。</p>
<p>金剛・葛城山麓にある葛城の道は、その景観自体が歴史的、文化的に重要な資源である。地域の重要性を整理した上で、調査・予測・評価を実施すること。</p>	

## 4. 環境影響評価項目及び調査・予測・評価の手法

### (12) 人と自然との触れ合いの活動の場①現況調査(※方法書127頁)

区分	調査項目	調査地点	調査期間
既存資料調査	人と自然との触れ合いの活動の場の分布、概況等	対象事業実施区域周辺	入手可能な最新資料
現地調査	主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用状況及び利用環境の状況	対象事業実施区域周辺における主要な人と自然との触れ合いの活動の場 (対象事業実施区域に近い位置)	近畿自然歩道の利用者が多いと想定される季節(冬季を除く)に1回

#### 4. 環境影響評価項目及び調査・予測・評価の手法

##### (12) 人と自然との触れ合いの活動の場 ②予測(※方法書127頁)

予測内容	予測項目	予測地域	予測時期
最終処分場の設置の工事、 存在、埋立てによる影響	最終処分場の存在及び 廃棄物の埋立てによる影響	対象事業実施区域周辺	影響が最大となる時期

## 4. 環境影響評価項目及び調査・予測・評価の手法

### (13) 文化遺産 ①現況調査(※方法書129頁)

区分	調査項目	調査地点	調査期間
既存資料調査	文化財及び埋蔵文化財包蔵地の種類、位置 又は区域並びに文化財にあつては指定の区分 文化財及び埋蔵文化財包蔵地の保存の状況 及び利用の状況	対象事業実施区域 及びその周辺	入手可能な最新資料
現況調査	文化財及び埋蔵文化財包蔵地の種類、位置 又は区域並びに文化財にあつては指定の区分 文化財及び埋蔵文化財包蔵地の保存の状況 及び利用の状況	対象事業実施区域 及びその周辺	必要な情報を適切かつ 効果的に把握できる時期

### ②予測 (※方法書129頁)

予測内容	予測項目	予測地域	予測時期
最終処分場の存在	文化財及び埋蔵文化財包蔵地	対象事業実施区域及びその周辺	埋立期間中

文化遺産に関する部会意見	事業者
埋蔵文化財包蔵地については、事業区域際を確認されていることを踏まえ、過去に深く掘削された区域については調査の対象とならないこと、盛土された区域についても掘削されていなければ調査の対象となることに留意し、遺跡の有無や内容について一部トレンチ等を掘って確認するなど適切に調査を実施すること。	部会審議の内容を踏まえ、調査等を実施する。

#### 4. 環境影響評価項目及び調査・予測・評価の手法

##### (14) 廃棄物等 ①現況調査(※方法書130頁)

区分	調査項目	調査地点	調査期間
現地調査	伐採樹木量	対象事業実施区域内の 改変区域における樹林	1回

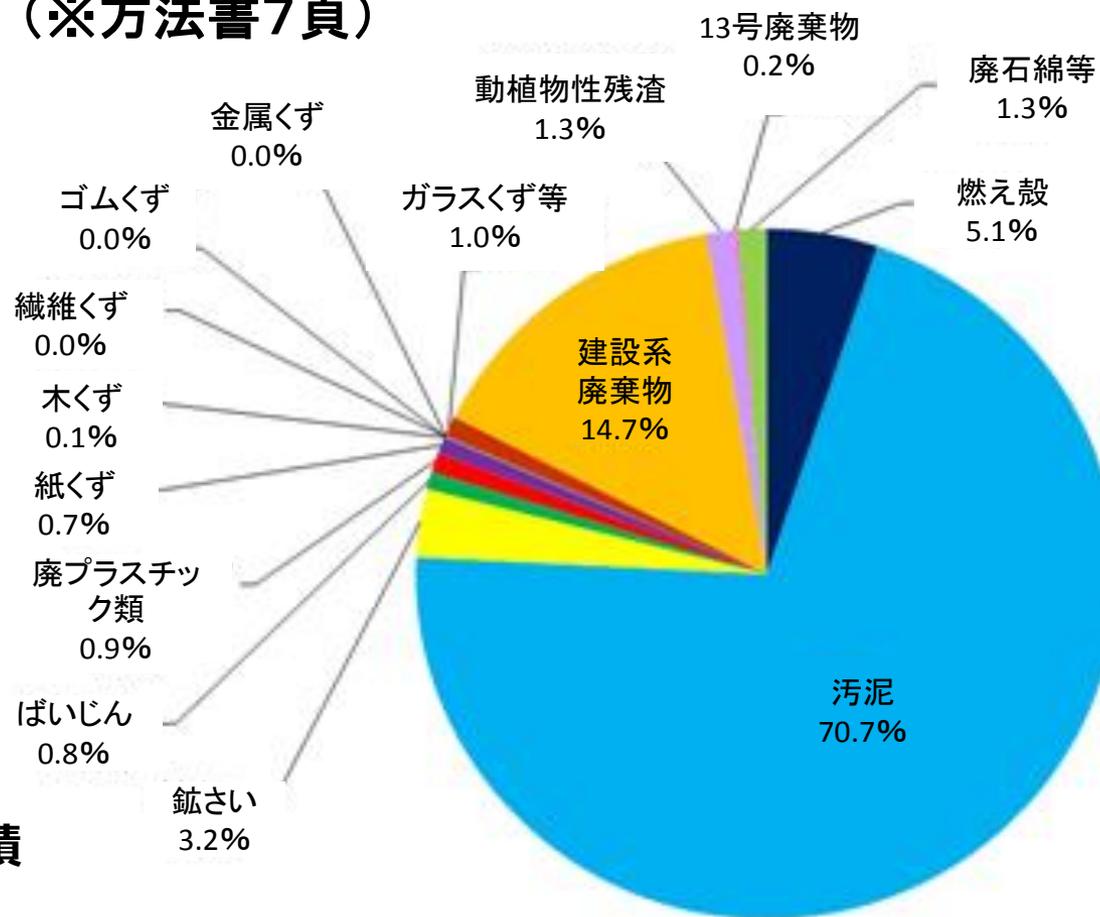
##### ②予測(※方法書130頁)

予測内容	予測項目	予測地域	予測時期
建設工事に伴う副産物	建設廃棄物、残土	対象事業実施区域	工事期間中

## 4. 環境影響評価項目及び調査・予測・評価の手法

### (15) その他事業計画 (※方法書7頁)

#### 【処理する廃棄物の種類】



#### 重慶最終処分場 平成25年実績

その他事業計画に関する部会意見	事業者
対象事業において処理する廃棄物の種類及び量について、受入量が最も大きい汚泥の種類及び比率を準備書に記載すること。	準備書に記載する。